

## 昭和 54 年 3 月 17 日(土)

入小屋<OB16th 植松>

## 昭和 54 年 3 月 19 日(月)

18:30 16th 植松 (小屋に私1人)

明日 20 日は、小屋を出なければなりません。というのも、22 日から仕事だから、21 日の春分の日は、ゆっくりと休養を取らなければならないからです。勤め人の辛いところ。ところどころで、3月 22 日と言えば何の日か知っていますか。あの日ですよ、あの日なんです。そうなんです。僕の誕生日なのです。26 才になります。二十代後半への突入です。26 才の事については後にして、明日のスケジュールを検討したいと思います。スケジュールとって結局、何時の汽車で帰るか という事になりますか。

1. 帰宅条件 遅くとも 21 日朝、東加古川着のこと。出来れば 20 日夜、東加古川着のこと。
2. 出小屋条件 小屋の掃除、後片付けもあるので、その余裕が欲しい事。
3. 経済条件 なるべく安価であること。
4. 昼食条件 妙高高原駅前 ソバ キクヤであること。
5. 連絡条件 バス・列車等の乗り継ぎ連絡の良いこと。しかも妙高高原にて 22 日出署の際のお土産を購入できる時間的余裕のあること。

条件 1～5 について検討すると、条件 3 及び 条件 4 については重要性を欠くので取り除くことにする。絶対的な条件としては 条件 1 が挙げられる。

以上より次頁にそのリストアップをすることにします。

以下 2 ページに亘り検討経過：省略

結論が出ました。貴重な紙面を私事でつぶして申し訳ありません。この埋め合わせは、神戸にお立ち寄りの時にさせて頂く事としてご勘弁を！

杉野沢 11:50ーバスー妙高高原 12:25？

妙高高原 13:25ー妙高 4 号ー長野 14:05

長野 14:15ー特急しなの 10 号ー大阪 20:07

大阪 20:31ー東加古川 21:43

決定！

条件 1. 2. 4. 5 を満足する。納得してくれたかな。さて、26 才の事について書く事にしよう。横浜国立大学に入ったのが 19 の時だから、まるまる 7 年間、ワングルに浸かっている事になる。22 期の諸君は知らないと思うが、私メは国大に 6 年間居たのですよ。大学 4 年、院 2 年ですぞ。僕のイメージとしては、国大＝ワングルなのです。26 年間の人生の中でやっぱりワングルの時が熱中していたなあ。

OB16th 植松

第 3 弾 あしたの弘 (ヒーロー) : 独白編

関係無いけど、昨晚開けた「角」のボトルが、漸く半分空いた。20:55

山をやり始めたのは高 1 の時で、学友の悪に誘われて丹沢に行ったのが運のツキだなあ。あれは確か表尾根を縦走して玄倉へ下った、1 泊 2 日の山行だったなあ。3 人用テントに 5 人で行ったから、テントの外で星を見ながら横になってただけで、シュラフなんか無いから、毛布にくるまって、寒い、寒い連発で、5 月の連休だったよな。

高 2 の時は高校紛争があつて、議長団かなんかになって、成績は一挙に下降線だったなあ。それでかどうかは知らないけど、大学滑って浪人。そしてうまいこと引っかけたのが国大なんだなあ。受験番号を発見した時、嬉しかったなあ。当時、国大は清水が丘といって南太田の山の方に校舎があつて、そこでクラブの勧誘をしていて、どこことなく足を向けたのが、今のワングル。親は反対したなあ。クラブに入っていると、先輩に単位の取り方を教えてもらえとか、大学院に行っている人も居るから、勉強に差し支えないとか、いろいろ説得したなあ。

清水が丘の時のトレーニングは、北八コースとかトンネル 1 本とか、いろいろあつて…懐かしいなあ。学食は、カレーが 80 円位だったかなあ。常盤台の学食のおじさんが、味噌汁に指突っ込んで はい〇〇円 なんて言うのは、今も変わらないのかな。

弘明寺も移転するそうで、淋しい限りだな。弘明寺の食堂 coop 100 円だったな。

酒、ストレートからインザ snow に変える。酔ってきた。

僕なんかの代の女子は、山竹村長の 4 人だった。その次の代は随分入ったな。次の代は 4 人入って 1 人やめたな。その 1 人が辞めたのは俺のせいだなんて言うんだよな。俺、ナンにもしてないのにな。ナンにもしなかったからかな。ワカンネーよな、女なんて。

女で煙草を吸っているのが居るだろ。バカ、やめろと言いたいよな。テメエはいいかもしれないけどな。あれ、赤ん坊に影響あるの知らネエのかな。

だから嫁さん、未だ欲しくないなあ。どうせ来手は無いけどさ。来手は沢山居て しないと言う方がカッコイイけどな。淋しい！

神戸に 1 人行って、人間少し大きくなったよな気がする。人を批判するという事を余りしなくなった。人間が丸くなったのかな。毎日毎日可哀想な資本家に飼い慣らされている労働者の相談を受けていると、そんな風にナッチまうのかな。

うちの監督署で一番若い監督官が私だから、雑用も多くて、でも、これも勉強ですよな、なんて言いながら仕事している。上司も笑っているよ。最初は修士が来るというので皆んな、どんな堅物が来るかと思ってい

たらしく、それがホレ、この僕でしょ。ズッコケたらしいのよ。  
空きっ腹にウイスキー、良くないんだよな。カップラーメンだからな。おメメがくらくらする。2150  
ダメダ。疲れた。ネルヅラ。おやすみ。

## 昭和 54 年 3 月 20 日(火)

出小屋<OB16th 植松> 8:25a.m 高曇り

### 16th 植松

例によって全く簡単な朝食が済み、これから小屋の掃除をする事にします。掃除終わり 9:20a.m

どうも腹の調子が良くない。カップラーメンばかりじゃ腹も怒ると思うよ。

ウイスキー「角」置いていきます。半分ほど残っていて、残り物で悪いけど、良かったら飲んでください。

さて、パッキングを始める事にします。小屋費だ、3泊だから  $200 \times 3 = 600$  円

何だかんだ時間がかかって 10:55。元気良く東加古川へ帰ります。それでは さようなら。

OB16th 植松

## 昭和 54 年 4 月 29 日 (日)

入小屋<鈴木栄、山口真己(♀?)>

19:00~5/1(火)8:00、鈴木栄、山口真己 2名

## 昭和 54 年 5 月 1 日 (火)

出小屋<鈴木栄、山口真己(♀?)>

## 昭和 54 年 5 月 3 日 (木)

入小屋<4年 20th 青山功、内村・青池(青山友)、OB 15th 萩生田弘・16th 植松弘・16th 本多賢>

約4年ぶりに小屋にやって来ました。久しぶりは、とても静かで、やって来て良かったなァと思っています。5月の妙高は、やっと春になったばかりで、山桜・水芭蕉 etc。花見が二度出来るとは思っていませんでした。今日は内村君、青池さんの二人(YWVには関係無い)と車で一緒に来たのです。ワンゲル以外の人にも、この小屋の良さを味わって貰いたくて誘いました。笹ヶ峰の優しさ、苗名滝の荘厳さ、妙高山の美しさ、そして何よりも苗名小屋の温かさを是非とも満喫してくれることでしょう。

今日は夜行でのドライブという事もあって、午前中はお休み。午後は買い出しと、全く単純な1日を過ごしました。夕飯のおでんもおいしく出来上がり、君の井

の口当たりが、何とも言えぬ夜を過ごせたようです。今、小屋には三人の他に OB の植松さん、本多さん、萩生田さんの3人がいらっやいます。現役の僕ならイザ知らず、社会人になっても毎年小屋に挨拶に来る事は、大変な事だと思います。僕も OB になっても小屋を愛し、毎年小屋には、是非、顔を出したいと思えます。こんな素晴らしい小屋が僕のモノ(クラブの小屋ではありますが、気分的には”我が小屋”なのです)だと思つと、それはまるで、心の故郷の様に思えてなりません。こうして、炬燵に座ってボンボン時計を聞いていると、まるで ずっと前から、ここにこうして居る様な気がしてなりません。五日には帰る積もりですが、今から、その時の気持を思うと残念でなりません。せめて、今、この時、この瞬間を僕のモノにしたいと思えます。

(4年 20th 青山功 5/4 1:00am)

## 昭和 54 年 5 月 5 日(土)

入小屋<4年 20th 石垣秀敏、3年 21st 山中直子、2年 22nd 寺島一希・成田裕子、1年 23rd 丸茂俊二・木村真行・大津山誠>

4年石垣さん、3年山中、2年寺島君、成田さんことキンドーちゃん、1年木村くん、丸茂くん、大津山くん入小屋! 1年生は23期ですね。

本日の夕食はすきやき、勿論(ブタ:イラスト略)ですけれども。1年生と2年生が協力してやってくれています。しかし、3年生になると、女子は雑務から開放される様です。しかし、何となく手持ちぶさたというか…(貧乏性というか)。

午後には、笹ヶ峰牧場へ行って来ました。雪が溶けたばかりの枯れ草の上で、野球したり寝転がったり。陽差しは割と暖かくなったみたいですが、風は少しばかりの冷たさを残して…気持ちよかったです。

一つの物事には、様々な見方、考え方があるものだと思います。執行部としてやり始めて早や4ヶ月、私達も自分達のやり方—自分達の納得のゆく—というものを、色々悩み考え出して来た積もりでした。一つの見方、考え方を—。しかし今、21期は一つの壁にぶつかったようです。50人も人間の集団に於いて、それも、特に何という統一された目的もない(勿論山に行きたいというのは、一つの目的でしょうが)集団に於いては、1学年がやろうとすること全て、賛成が得られるというのはあり得ないでしょう。

3年 21st 山中直子

出小屋<4年 20th 石垣秀敏、3年 21st 山中直子、2年 22nd 寺島一希・成田裕子、1年 23rd 丸茂俊二・木村真行・大津山誠>

20期石垣 人呼んで 英知愛

春の暖かい陽差しが小屋の中にも差し込んで来ています。冬の雪に埋もれた、昼尚暗い小屋を思うと、やはり、春です。今日、苗名の滝に行く予定でしたが、昨夜も遅くまで起きていて、また夜行疲れも手伝って、予定は未定で、結局、決定は、小屋でゆっくりして帰ろうという事になった訳です。

突然ですが恐縮ですが、皆さん！「山小屋利用の記録」はしっかりと書くようにしませう。折角ノートがあるのですから、山小屋日誌はよく利用されているのぬねえ。あと、「ギネスブック IN なえな小屋」というノートを春に作りました。馬鹿馬鹿しいでしょうが、これも出来るだけ活用するようにしませう。

1年生3名を山小屋に連れてきて教えた事。

1. 笹ヶ峰牧場…5月は牛の居ない牧場なのです。
2. ゴムボール野球…鬼のバットで1イニング一挙12点、疲れた！
3. 電線ゲーム…成田の好きなVSOP(ブランデーではない)
4. ワンゲル式ドボン…やはりガッツと慣れが必要です。
5. ロールでメンツふき…
6. ワンゲルの3原則…その1. ウワサは信じるな！その2. 持ち物には名前を！（交換、盗まれないように）その3. 多少の事ではめげな！（冗談がキツイのです）
7. 寺島氏…落ち度のない寺島君、時として汚点の寺島君、又ある時は落ち目の寺島君。

4年20th 石垣秀敏

一22期寺島一

5月の小屋に”行く””行かない”…と、色々と考えた挙げ句、やっぱりやめようと思ったのに、石垣さんの口車に乗せられて、来てしまいました。でも、やっぱり来て良かったと思う事にしています。(事実良かった。)だから、浅太郎も、製図なんかほっぽりだして、来れば良かったんだ。

それにしても、雪が全く無い。昨年来た時には、裏山でスキーが出来たというのに、今は小屋の近くに、ちょっとした塊の雪があるのみ。今年も、5月スキーが出来るかと思ったんだけど…。

1年生を見ていると、昨年の5月、1年生としてこの小屋に来た頃の事が思い出されます。あの時は、僕も未だ純情な1年生だったのに、どうして、こんな風になってしまったんだろう。あ〜あ！

――また来るぞ！絶対に――

2年22nd 寺島一希

1年生の諸君。せっかくワンゲルに入ったのです。そ

して、せっかく小屋に来たのですから、何か感想をひとこと…

木村 : 思ったよりも立派な小屋でした。

1年23rd 木村真行

23期丸茂俊二

ワンゲルに入って未だ半月、新練の為の装備も出来ないうちから、急に苗名小屋行きとなり、このゴールデンウィークは、29・30日は福島県医の高校時代の親友の下宿へ行き、3日は彼等が福島から帰ってきたので大船で集合、4・5・6日はここに来たので、本当に忙しかった。

初めて山の生活らしき食事、シュラフの経験、笹ヶ峰への散歩、夜はお酒に酔ってお話、成田さん、すいません、初恋談義はいつか又。

明日の1限から授業ですが、夏また来て、ワイワイやりたい！今回は、お掃除に来たのでは…今、小屋を見渡して、そう思う！？

1年23rd 丸茂俊二

23期 大津山誠

何かワンゲルに入って、そして間もなく小屋へ。来ようか来まいか多少迷ったが、矢張来て良かったという感じ。予想以上に小屋も良かったし、上級生も割と優しく、又、ワンゲルに慣れる意味でも有意義であったと思う。

1年23rd 大津山誠

去年の連休を思い出しつつ、楽しい時を過ごしました。又、夏も終わり頃の小屋合宿まで会えない小屋、さよなら。時間が無くて悪しからず。

22期のおぼん. Y.N(20歳になる!)2年成田裕子

昭和54年6月12日(火)

寄小屋<OB12th 山下久男>

”ギネスブック in なえな小屋”というノートがあるのを発見しました。未だ出来たばかりなので、殆ど白紙ですが、面白い事を考えるものだと感心しています。その中に’山小屋最多通算宿泊回数’という項があります。未だ誰もその欄に名前が載っていません。恐らくこれを書いた人が、この山小屋が発発した時からの事を全て知っていなかったからでしょう。OBの中には凄い人が居るかも知れないと、一応OBに敬意を表してくれたのかもしれませんが。確かにOBの中には、夏休み中を殆どこの小屋で過ごした等という人も居ますので、このギネスブックが正確を期するものであるならば、相当 昔のことも調べなければならぬかも知

知れません。私個人の事です(今、正確に思い出そうとしましたが、ちょっと無理の様です)、今回、この山小屋に来たのが30数回目、宿泊回数は150日を下回らないと思います。ですからこのギネスブックに載る資格のある1人だとは思いますが、あまり気乗りしません。「他にいく所が無いのか」等と言われそうです。

今日は午前中、車で笹ヶ峰よりずっと奥まで行き、雪の火打、焼を眺めながら、日がなポッとしていました。もうあの頂には随分行ってないなあ、時の経つのが早いことに驚いています。ここ数年も、必ず年に1、2回は来ているのですが、妙高の自然の中に入ると、それだけで満足してしまい、山に登ろう等という気が起きてきません。それはそれで良いと思うのですが、あの残雪を踏みしめてみたいという気も、身体はどこかに未だ残っている様で、自分が歯がゆく思う事もあります。

今回も別に目的を持ってこの小屋に来た訳ではありません。単に安息を求めてというだけだったかもしれません。

話が年寄りじみている事に気が付きました。だから、このノートにペンを持って向かうのが嫌だったのです。

**OB12th 山下久男**

追記

この小屋が、すごく味気ない気がしてなりません。室内を見回しても、以前と根本的に変化したという事は無いのですが、何故でしょう。私自身がこの小屋の中では過去の人間であって、現在と直結する何物も無いという事が原因かも知れません。そういう意味で現在この小屋を運営している現役諸君が羨ましくて仕方ありません。

**OB12th 山下久男**

## 昭和54年8月4日(土)

入小屋<4年20th 武藤功二>

1月以来 小屋に来ました。きつときつと誰か居るだろうなんて思いながら、バイクを転がして来たのだけれども、誰も居ず。小屋に入って水を汲んできて、紅茶沸かして、やっと今くつろいだところです。軽井沢でのゼミ合宿の後、今日の朝、軽井沢を発って、軽井沢→万座→奥志賀→野沢温泉→野尻湖→小屋という風に来ました。しかし今日は最悪、雨は1日中降るし、転んでヘッドを割るし、また小屋の前でも転がして掘った。

ところで酒は無いのかなあと思っていると、なんと何時の物かわからぬオールドが出てきました。はんのチョットしか入ってないけど、置いていった人に感謝して、飲ませて貰います。(P.M.7:30)

今日はもう疲れ切っているから寝ます。おやすみ。  
(P.M.8:00)

**4年20th 武藤功二**

## 昭和54年8月5日(日)

9時起床。昨夜はネズミが這いずり回ってうるさかったことか。何回、目を覚ましたか分からない。

飯を作る。メニューは紅茶、UFO、フランスパン。今日の予定を立てる。

それから風呂に行き、小屋に戻って飯を食う。メニューはカレー。(これも残して行ってくれた人に感謝。カレーはジャワカレー)。

**4年20th 武藤功二**

## 昭和54年8月6日(月)

出小屋<4年20th 武藤功二>

6時半起床。久々に空は晴れた。これから小屋→笹ヶ峰→小谷温泉→能登半島へ行く予定です。食糧を少々食べてしまったので、その代わりUFOと鶏釜を置いて行きます。現役諸君は小屋整備しっかり頼む。(特にネズミ退治はしっかりと)。下のみ簡単に掃いておいた。それからゴミは燃やしてないので頼む。(8:00am)  
(ムトー 名前ぐらい書けよ!←功二(20th) そうだ!)

**4年20th 武藤功二**

## 昭和54年8月14日(火)

(元小屋委員長)

入小屋<OB19th 南靖英>

天気 晴れ 6:30pm

今、小屋に着きました。12、13、14日と軽井沢でテニスをして、1人静かな時間を求めて、「私の愛するなえな小屋」にやって来ました。

《OB元19期(山小屋委員長) Y. M 南靖英》

PM9:15 ビール500cc2本で酔ってしまいました。テニスの疲れでしょうか、明日は妙高に登る積もりですが...

**OB19th 南靖英**

## 昭和54年8月15日(水)

天気 晴れ 8:00am

朝です。もう8時です。暑そうなので妙高山への登山は次回にします。

9:45pm 池ノ平、赤倉、杉野沢と3つの町を歩いてみましたが、冬とは違い、淋しい気がします。

自らを紹介しますと以下の様になります。

1979年3月24日 横浜国立大学工学部機械工学第2

学科卒業

1979年4月2日 ゴーゼル機器㈱入社

1979年7月1日付 ゴーゼル機器㈱空調事業部設計部に配属

今日に至っております。

私メの仕事は、外車のエアコン装着の改良及びその組み付け助手。そして主な仕事はオートエアコンの改良であります。

注 オートエアコン…希望の温度にエアコンを設定した場合、エアコン自身がその温度を保とうと制御し作動するエアコンを言う。

当社…ルーチェレガート・117 クーペ XE

現役の人達が 8/25~8/26 に小屋に来る事を岡田さんから聞きました。私は現在、埼玉県東松山に居ますので、小屋の帰りでも寮に電話してくれれば、夕食位はご馳走します。8/27の夜でしたらOKです。

ディーゼル機器株野本寮 0493-23-7437

10:00pm 迄ならOK。

元小屋委員長として一言。

福沢諭吉の「心訓」より

”世の中で美しいものは すべてのもに 愛情もちことです。”

山小屋を大切にして下さい。

OB19th 南靖英

## 昭和 54 年 8 月 16 日(木)

出小屋<OB19th 南靖英>

8月16日 7:30am ” Good Bye”

(Y.M.) OB19th 南靖英

## 昭和 54 年 8 月 22 日(水)

入小屋<2年 22nd 鴨志田岳志・外A (鴨志田友) >

## 昭和 54 年 8 月 23 日(木)

出小屋<A (鴨志田友) 外

## 昭和 54 年 8 月 24 日(金)

入小屋<4年 20th 水田徹・青山功、3年 21st 山崎俊夫・籠橋泰憲・溝畑晃道・中川雅邦・渡部朋子・椋代節子、2年 22nd 成田裕子・谷内佳子・柳沢章博・成島和仁、1年 23rd 根岸正彦・吉田>

## 昭和 54 年 8 月 25 日(土)

8:15am

もの凄い集中豪雨。溝畑さん、中川さん、椋代さん、

渡部さんらを初めとして、周辺Wの人達どうしているだろう。心配だなあ。

僕は 22 日から小屋に居ます。暇だから今までどのように過ごしたかをちょっと。

22日 4時過ぎのバスで小屋へ。その前に五八木荘へ寄って鍵を借りようと思ったら『今、鍵を持っている人が仕事に出掛けているので、今日は便所からでも入って貰って、明日にでもまた来てくれ』と言われ、ガン！ しかし小屋に来てみるとどういふ訳か鍵は開いていた。(不思議)

宿泊者 僕と一緒に来た知人と二人。疲れていたのに麻婆豆腐その他豪華な食事をしてすぐ寝る。

23日 朝目覚めると、昨夜来の雨がかなり激しい。それでも昼頃には止む。

1時 35 分のバスで帰る知人を送り、僕は五八木へ洗濯、水汲み、洗面に出掛ける。今日は多分、1人で泊まることになるだろうと、早くから、若干、アルコール飲料を飲み、霧の中、伐採された辺りで夕涼みをしていると、何と、山の格好をして溝畑、中川、渡部、椋代の四先輩が来るではないか。何でも雨がひどかったので、黒姫は諦めて、取り敢えず小屋へ来たらしい。おかげで天麩羅の夕食に混ぜっこしてもらい、淋しくない夜を過ごした。しかし、ねずちゃんが全く凄く活躍振りだ。

8/24は5時起床。中川さんらが火打方面へ出掛けると言うので、7時前、笹ヶ峰までお見送り。天気曇。帰りは牧場で野いちごを食べ、その少し先からダンプに便乗して小屋へ。9時過ぎ着。

ゴミ焼きをやって、11時前、苗名滝へ行くべく林道を下る。杉野沢まで1時間以上かかった。昼食用にパン3斤とコーラ1本を買い、いざ滝へ。途中、変な数十人の集団が前を歩いている。話を聞いていると、言葉はなんとドイツ語だ。長い間忘れていた大学の事を思い出し不快になる。

苗名滝は水量がもの凄く、仲々大したモノだ。しかし水が茶色いには少々ガッカリした。ついでだからと、自然歩道とかを歩いて二の滝へ、こちらも凄い。しかし、苗名滝~二の滝間は道が荒れかかって、人が入っていないようだ。案内図によると、そのまま西方発電所を経て笹ヶ峰へ行ける様になっているのだが、道は全く無い。滅茶苦茶な藪をを強引に 30 分以上かかって、滝を高巻いて裏側へ行ったが、その先はさすがに行けなかったのだ、残念。しかし県も無責任なもんだ。案内図に有るはずの道が無いんだから。走るようにして杉野沢へ戻り、最終バスに飛び乗って小屋へ帰る。案の定、誰も来ておらず、僕1人淋しい一夜を過ごす。しかし、たまには1人というのも良いもんだ。

ところで、今降っている雨は、何とかなんないのかなあ。始発バスの時間が過ぎても誰も来ないところを見ると、バスは運転されているのだろうか。今日あたり

誰か来ても良さそうなもんだけど。

以上 22nd Kamo2年 22nd 鴨志田岳志

” 嗚呼、妙高の秋桜は雨に濡れて”

まずは入小屋している者から、

水田・青山 (20th)

山崎・籠橋 (21st)

成田・谷内・柳沢・成島・Kamo (22nd)

根岸・吉田 (23rd)

本日 中央線多治見駅 0:40 発直江津行き急行にて、この山小屋にやって参りました。北海道に於ける夏合宿より、もう 20 日余り、流石にみんなの顔が一目たりとも早く見たいと思い、小屋合宿前日の本日入小屋しました。しかし、小屋に入った途端、もう昼間からカティーサークという酒を飲んでしまい、もう良い気分です。妙高高原の駅にて、水田さん、谷内、成田に会った訳ですが、本日より雨の中、黒姫に登った隊があり、まだ(5:20pm)入小屋していないのを見て、可哀想と言うか、ガッツが有ると言うか、風邪など引かないように、無事に帰ってきて欲しいものです。岐阜に居た頃は毎日、夕方になると夕立が来たものですが、ここ妙高では、しとしと雨で、若干迫力に欠けますが、やはりそれ以上が変わってしまった妙高の方が、より一層驚くものがあります。(アスファルトの道路 etc)

明日からは、一段と騒がしくなる筈です。この騒がしさと共に、妙高の秋は、徐々に深まってゆくものと思われれます。 21st Kagohashi

ps. 突然、溝畑の一行が帰って参りました。雨に濡れて、頑張ってきたようです。御苦労様でした。 おわり

3年 21st 籠橋泰憲

## 昭和 54 年 8 月 29 日(水)

8:30pm 籠橋泰憲

小屋合宿も今日の朝で終わり、本日は 22 期の L 講習会を昼からしました。しかし、1 年生はもう全員帰ってしまい、流石に小屋も、日一日と淋しくなりつつあります。21 期の今後の合宿は、L 養…と数少なくなりましたが、僕らは後輩の為に最後まで頑張り、気を引き締めてゆくつもりです。

さて、今の 22 期を見ていてつくづく、いいなあと思う。一つの目標に向かってみんなが一丸となっているようで。本当にその情熱をいつまでも大切にしたい。これからは、色々な悩み事が生じるかも知れないが、頑張って 21 期の執行部を越えた執行部を作って欲しい。そして、割と事務的な作業が多くなるかも知れないが、22 期が最も得意とする” みんなで一丸となって遊ぶ” 事も忘れないで欲しい。明日は早朝

より笹ヶ峰に行くそうだけど、思いつき遊んできて欲しい。仙人池で思いつき泳いできて欲しい。妙高高原の朝・夕ともかなり涼しくなり、もう赤トンボが飛んでいるのです。長かった夏も終わり、秋はもうそこに。学校の部室で、またみんなに再会できるのを楽しみにして、僕は明日、家に帰ります。今度この小屋に来るのは、新雪の降る 1 2 月でしょう。それまで一時お別れです。

では最後にもう一度、22 期の L 養の成功を祈ってペン置きます。(おわり)

” L 養は、みんなで成功させよう”

3年 21st 溝畑晃道

山崎晃

4 回目の小屋合宿を迎えた僕としては、妙高は素晴らしいと思う。

2年 22nd 山崎晃

## 昭和 54 年 8 月 31 日(金)

21st 溝畑晃道

昨日泊まったのは、溝畑・籠橋・渡部 (21st) + 橋岡 (22nd) の 4 名。お昼頃、2 年の有志諸君に井戸さらいをやってもらった。井戸の底がネズミとカエルの墓場とは知らなかった。あんなに井戸が汚いものとは知らなかった。去年の井戸さらい、やった者が実状を教えてくれれば、もっと早く手を打っていたのに。→しかしこれは私の責任です。来年の小屋委員よ、絶対に井戸さらいをやってくれ。それから井戸にネズミが入らないように工夫してくれ。

3年 21st 溝畑晃道

21 期 藤倉大介

何という事か。あんなに楽しみにしていた小屋合宿(この中でも特に小屋コンパ)に、僕は自分の不注意で腹痛を起こしてしまい、とうとう小屋合宿には参加出来なかったのです。特に今回は、村松と鳥井と 3 人で車で来る筈だったのに。小屋で何が面白いかって。それはコンパの一言に尽きると思います。今年は執行部学年でもあったので、目一杯叫ぼうと思っていたのに！それで悔しいから 30 日の夜に湯河原の友人と二人で、車を飛ばして小屋に来てしまいました。妙高の駅に着いたのが 31 日の午前 5:00。ここで仮眠して小屋には 8:00 頃着きました。誰か居ないかな という期待のもとに小屋に近づくと、鍵がかかってない。嬉しくてドアを開けると、前述の 4 人がしっかりと渡部 1 人に飯を作らせて、他の 3 人はダベっているという状態で居たのです。予定でいけば、小屋合宿の後の L 講習会が 30 日で終わるはずだったので、2、3 年に会えると思っておりましたが、出発の前日に岩崎から連絡を貰い、予定が繰り上がって 30 日はみんな帰るだろうと言う

ので、いささかガッカリしていたのですが…。

今さっき、4人が帰ると言うので、途中五八木荘の岡田さんの所に寄ってから駅まで送って、飯の買い出しをして帰ってきた所です。相棒は昨日の疲れからか、二階で寝ていますが、僕の方は未だ2:00を回ったところだと言うのに、昼間からオールドを飲んで、1人悦に入っている所です。

やっぱり小屋はいつ来ても小屋で、入口のあたりが木を切った為に少々変わりましたが、本当に良いところ。これからの予定は、後で二人で相談して、色々決めますが、明日小屋を出て、美ヶ原や松本の辺り、或いは日本海に出て、帰りに軽井沢と甲府に寄って帰ろうと言うのが大体のところ。何故甲府なんかに行くかという、それは成島に聞けば分かるけれども、美人の多い所で、今まで僕が行った街の中では、一番レベルの高い所だと言うことで、是非ともチャンス(何のチャンスやろ?)という気持ちから。また、これからのコースが決まったら報告します。

### 3年 21st 藤倉大介

午後5時30分起床、もう外は薄暗くなり始めていた。2階から下りて見ると、大介はシュラフの中で寝ていた。その枕元にはオールドが半分になって転がっていた。奴も昨日の疲労のせい、ぐっすり寝ていた。起こしてみたが、起きなかった。そこで寝顔を写真に撮る事にした。それを意識したのか、又は、夢の中で”あけみ”とデートしていたのか、薄ら笑いをした。奴は、どういう神経の男なのか、全く解らない。それから今度は俺がオールドを飲むことにした。1人で飲む酒も悪くない。6時になり、俺も腹が空いてきたので、奴を起こすことにしたが、起きなかった。7時、奴がやっと起きた。相棒より外相棒(藤倉友人)

これからの予定が決定した。

妙高—<R18>—直江津—<北陸道>—柏崎—<R252>—十日町市—<R117・奥志賀スパー林道>—志賀高原—軽井沢—<R254>—松本(美ヶ原)—<R20>—甲府—山中湖—箱根—湯河原(泊)

もう、ガッツで走るしかない。

只今 9/1A.M.2:53 今やっとドボンが終わって、これから寝るところです。結果は117回やって、僕の5040円の勝ちに終わった。バンザイ。

### 3年 21st 藤倉大介

## 昭和 54年 9月 1日(土)

8:00頃起床。これからメシを食って、小屋の後始末をしてから帰ります。今度ここに来るのは冬。ワンゲルに入ってから3度目の冬です。また絶対に来ます。

9:30 出発。直江津に向かいます。

入小屋<OB17th 川俣・石川・梅野匡俊>

s54.9/22~9/23 17期川俣・石川

鎌倉(川俣氏の家)を、9/21 23:00頃 start。関越から軽井沢、長野経由で妙高着、約350km。川俣氏所有の「いすゞニュージェミニ1800」(ご存知、ハート&ハード)は、とにかく調子が良かった。

今回の目的は次の通り。

1. 車で山小屋へ来る事。
2. 火打に登ること。

出発が遅れたため、(2)は今回中止。

久しぶりの山小屋はきれいに片付いていて、大変結構。今回、俗に言う「ラジカセ」を持参したので、早速 set し、カセットを聴く。メニューは次の通り。

午後のコーヒータイトム ビートルズ;ラバーソール、サージャントペーパー、ホワイトアルバム ビリージョエル;ザストレンジャー S&G;明日に架ける橋 etc

そして夜は ナベサダ;my old fashioned キースジャレット;ケルンコンサート

更に朝は ナベサダ;morning island

山小屋の音響効果について

部屋の内装に板材が多いため、よく音が反響する模様。ふとん等、音を吸収するモノを片付ければ、ラジカセ程度であれば、案外いい音がすると思われ。

最近、仕事が忙しくて、家へ帰っても、ゆっくりとレコード聞いたり、ギターやったりする暇が無く、どうもいけません。今度、車で山小屋へ来たら、音楽好きな連中と一晩中セッションをやりたい。

OB17th 石川

## 昭和 54年 9月 23日(日)

出小屋<OB17th 川俣・石川>

## 昭和 54年 9月 24日(月)

出小屋<OB17th 梅野>

54. 9/22~9/24. 17期梅野

9/22. 新潟から、日産パルサーで180kmをやって来ました。5時頃着いたら、川俣と石川の二人にばったり。今回は、久しぶりで3連休になったので、のんびりしようと思ってやって来ました。夏は全く休暇が取れないので、他の人みたいに1週間の夏休みを利用しての山行が出来ないのが残念です。

But、秋から春にかけては比較的暇が出来るので、新潟の山へ行こうと思っています。御神楽、守門岳、浅草といった、割と知れた山以外にも、焼峰山、二王子岳など、良い山も割とあります。

山小屋一年ぶりですが、なんかスッキリとし過ぎているとか、整っているとか…。食器が全てビニールの袋の中に入れてあるのなんか、昔（大して昔ではないが）は信じられなかった事です。きっと、几帳面な女の子でも入部したのかな。

現在、新潟県内（山小屋所在地）に住んでいるワングルOBは、次の3人だと思います。

14期 鈴木道夫氏（直江津）信越化学

17期 私コト梅野匡俊（新潟）麒麟麦酒

18期 壺井久雄君（新潟）安田信託銀行

たった3人が地元ということですが、もし時間があつたのなら、訪ねてみてください。

尚2台の車を林道から小屋迄入れたため、雨が降り、出るに出られず、悪戦苦闘。9時から12時までかかって、やっと2台出しました。その時、毛布2枚を、忍び難きを忍んで使用させて頂きました。ごめん。

忠告その1. 車は絶対、小屋まで入れてはならない。

OB17th 梅野匡俊

## 昭和54年10月6日(土)

10/6~10/7 20th 臼井真理子

今回は、かなり変わったメンバーで来ました。数学科4年の、確立論ゼミの8名です。

昨日、戸隠の中社付近の民宿に入り（5名）、今日は野尻湖で遊んでから小屋入りしました。

今年の小屋は、本当に美しい！ すばらしい。整理学、住まいの整理学の極地です。一般人の6名も、かなり気に入った様子です。But、或る女子曰く（太田クンが気に入っている女の子）

「えー！靴を脱いで上がるのー？」

ガン！

やっぱり、一般人には、ねずみの井戸、とがない米、洗わない野菜、廻し食いの食器などには、かなり抵抗を覚えるらしいので、私と田中さんで一生懸命おでんを作り、他の6名は大貧民！まるで4年前の1年生に戻った様です。

初秋の妙高は、アクセントのように紅葉が緑の樹木の中に散りばめられています。10月10日（とつきとうか）は、羽毛シュラフを貸してくれなかった〇〇クンのBirthday. 一応 Happy Birthday と言いましょ。

気持と言うのは、海のようなもの、  
どンドン昂揚して行って、満潮になって、  
そのうちいつのまにか、ひいていってしまう  
引き潮なんて止めることできやしない  
でも、そのうち新しい満潮がくるだろう

10月15日からは、中学の教育実習。指導教官の、28歳の先生の言った言葉が心に残る。

” 動の中の静、独楽というのは、回転が遅いとぐらつ

いて、よろめいてしまうけれど、回転が急速になったときは、回りながらも、静止の形を保っている。そんな姿になりたい”

今の姿は何だろう。よろめき、よろめき、踏みこたえている独楽じゃないかな…

Mari Usui 4年 20th 臼井真理子

Oct. 6. Sat. 9:00p.m

そろそろ杉野沢へお酒の買い出しに出掛けたマリ一行が帰ってくる筈です。「冗談が本気」となるワングルを離れ、「ゼミ」という一般旅行者の間に居るという事が命取りだったようです。我がゼミの同志諸兄も体内燃料の為なら、寒さも暗さも何のその…。突然、買い出しに行くと言われ、おかげで Mariko 嬢は、言い出しっぱなしとおつき合い。無事に帰ってくれるでしょうか…。

小屋合宿に参加しなかった為か、今年の夏は今ひとつ…でも今日、久々に妙高駅に着いてカンゲキ。小屋に着くと、あれ、間違えたのかなと、我が眼を疑うほどに、キッチンと整理された小屋に巡り会えました。もう、もう嬉しくて…。21期山小屋委員長、副委員長の素晴らしき活躍に、ただただ頭が下がります。そして、小屋合宿に参加した皆さん、本当に本当に有り難うございました。このまま冬が過ぎても…きっと、綺麗に使いましょ！

8人位で居る山小屋はいいものです。淋しくもなく、うるさくもなく。外は秋色に染まろうとしています。我が学生生活も後わずか…。何だかとても短かった様です。そして、小屋へもあまり来なかったと悔やんでいます…。小屋は良い。一般人が何と言おうと、やはり私のオアシスなのでしょうか。

未だ Mari は帰って来ません…心配 チョッピリと。

Emiko Tanaka 4年 20th 田中栄美子

## 昭和54年10月7日(日)

10/7 雨

昨晚より雨。同行の一般人1名が机の側で 上から水が降ってくるよ…と何気なく言う。ムム まさか雨漏り？と思いつつ2Fへ。ジャーン しっかり雨漏りしています。鍋置いて、新聞紙敷いて、雑巾 埋めて etc. 赤テープで印をしておきました。早速、下界へ行ったら山小屋委員に連絡し、雪の訪れる前に直してもらいましょ。

[直す前に入った方へ 鍋に水がたまっていたら捨ててから、もう一度その位置へ置いておいて下さい。]←お願いします！

善処を望みます。

20th Tanaka 4年田中栄美子

Oct.7<sup>th</sup> 17:00 20<sup>th</sup> Mariko Usui

「今日帰ります」のパターンです。  
昨夜は雨の降る中を、7:30 から杉野沢へ酒を買い出しに行きました。何と、あの林道の遠いこと！9:00 にやっと酒屋へ着いて、君の井2本とおつまみを買った。小屋に帰れるのは11時かなーと、坂道を重い気持で昇り始めていると、アッ、車だ！  
何とかヒッチすると、苗名滝までしか行かないとのこと。ワーンワーン。しかし若干1名女子の魅力で、無事に小屋迄ヒッチ出来ました。しかし、疲れた！気をつけよう。  
お酒を買いに行くのは酔った気持で、フラフラ行かない方がいいようです。下まで30分ダヨーなんて歩き始めたら、1時間強、下りにロードでかかりました

4年20<sup>th</sup> 白井真理子

## 昭和54年10月27日(土)

入小屋<OB18<sup>th</sup> 渡部(元)>

## 昭和54年10月28日(日)

10/28 昨日、妙高に行く予定で入りました。  
林道をずっと歩きましたが、途中で工事の人に追い返されてしまいました。治山工事中につき通行禁止だそうです。  
けっこう寒いのです。  
山の会に入って1年過ぎ、このところ毎週ゲレンデに行っていましたので、久しぶりにゆっくりと致しました。12月に又、スキーをしに来ます。  
小屋が綺麗になっていたの、嬉しくなりました。現役の人達も、良くやってくれているのですね。

OB18<sup>th</sup> 渡部記(元)

## 昭和54年11月2日(金)

11/2  
今日の午前5時30分 嶺岡町 黄色いCIVICで出発。  
drivers 加賀、石垣  
passenger seats 増田、遠田  
コース：嶺岡町ー八王子<中央高速道路>勝沼-葦崎<141号線・佐久甲州街道>-小諸(懐古園へ)<18号線>-川中島古戦場後一長野<リンゴを買う>-妙高高原町(買い出し)ー山小屋  
時間 5:30AM~6:30PM 13時間  
距離 加賀

いつか別れる日が来ると思っていた。しかし、もっと気持ちよく…。やはり、無いものネダリだろうか。僕はいつから狂いだしたのだろうか。確か3年前までは

正気だった。確か1年前は狂気だった。その間の1年の日々に、徐々に変わっていたんだろう。多分、いや誤魔化すのはやめよう。その原因は、彼女だった。信じられる日々が長く続いたのも事実だ。僕にとっては、トマトジュースの様な、まずい日々が続く。彼女は美しい！

4年20<sup>th</sup> 加賀友視

## 昭和54年11月3日(土)

11/3 1:00am 到着 黄色いMIRAGE  
drivers 小泉、下村  
passenger seat 溝畑

11/3(土)

武田氏・岡田氏の二人(五八木荘の植林作業を手伝っているらしき人々)に、屋根を見て貰った。雨漏りの原因と考えられる穴が、3ヶ所見つかった。明日昼頃、パテを使って修理して下さるとのこと。

現在、18:30。先程迄、石垣さん、下村さん、加賀さん、増田さん、小泉さん、遠田さんの6人は、車で日本海の方まで遊びに行っていた。私はその間、お湯を沸かしたり、屋根に登ったり、マンガを読んだり昼寝をしたりで、ブラブラしていた。

今回は屋根を修理しに来た訳だが、考えてみれば、屋根の本格的修理など、私に出来る訳無かったのである。前記の両氏にパテを詰めてもらえる事は幸いであった。今回やれば良かった事は、23<sup>th</sup>の森島から、布団を買い、それを小屋に入れること。石油をもう、ドラム缶1本分(200L)入れる事である。しかし前者はシュラフがあれば良い。ワングルのくせに、小屋で(これ以上)布団を使おうなんぞ、甘い甘い。また、お客さんぐらいの布団・毛布は今も十分ある。但し、今年から炬燵が3台になるので、その炬燵布団は欲しかった。その点は、私はボヤッとしていたので、まずかった。次期小屋委員長殿、来年の夏は、コタツ布団3枚頼む。後者は少し難しい問題である。今年も、春の後半石油が無くなって、弓削さんが怒っていたそう。(スマンでした。)今年の夏は、キビシイ石油危機。農協さんの御好意で何とか200Lだけ買うことが出来た。他のガソリンスタンドは多くても20Lしか売ってくれないというのだ。

☆さて、山小屋の石油使用量は、どの位か？ 19<sup>th</sup>の南さんは、ドラム2本を入れた。それが今年の春になって少々足りなくなったと言う。つまり、単純には冬・春でドラム1本(200L)+α(20~40L)と言うところになる。よって、私は思うに、今回も、春若干足りなくなるだろう。まあ、さっき上級生と相談した結果、12月の多量使用開始から残量を確認し、春、小屋合宿の時、足りない判断したら、20Lポリタン×3

本位 ボッカする。」事になった。たとえ石油危機で、夏にドラム1本しか買えなかったとは言え、今回ポリタンで買わなかったのは、私の責任かも知れない。まあしかし、炬燵が3台になったのだし、この際、石油の儉約を提案したい。

注・今、酒を飲み、話しながら書いているので、支離滅裂な文章かも知れない。少し休憩！

Ps.これで終える事になった。

21st 山小屋委員長 3年溝畑飽き道(晃道)

## 昭和54年11月4日(日)

やはり、いつもと同じ様に「今日、小屋を出る事にします。」から書き始める事にします。秋の山小屋に来たのは、これで2度目です。1年の時、10月の終わりに来まして、その時は1日中雪が降っていたのです。今回寒いかな、と思うと、あにはからんや、あまり寒くない。そこで私は考えた。今年の冬は早く雪が降るのかなあ、と。昨年、一昨年は雪が少なくてまいった、まいった。ああ～ スキーを早くやりたい。また冬に来ます。ではでは、また。

20th4年 石垣秀敏

今日で3日目、アッという間に過ぎてしまって、もう帰る日になってしまいました。もう当分、来れそうもないと思うと少し淋しい。私は、雪の無い小屋は、実に今回が2度目です。この前は、1年の新練二次、黒姫の帰りに寄った時以来です。なつかしいー。何と三年と半も昔の話…。炬燵を囲んでみんなで話す事も、何故か昔話が多くて、ああ、歳やなー。しかし、この狂った環境は実に久し振りと言うか、まともな生活を続けていた私にとって、一時間一分一秒が、その驚きと恐怖と引きつけの連続であった。本当に楽しかったなァ。加賀は今もその人カステレオは回っているし、石垣氏も朝 目を覚ますと、その頭の回転たるや素晴らしい早く回り始め、下村氏も淡々と、いやノンビリ、ある時はシビアに、またある時はウーン、going my way. マスと小泉ちゃん、ハイ！よく働く、よく笑う、よく食べる、me, too. 溝畑委員長…4年の中に居て、その存在感たるは人一倍、頼もしいですね。

明日はもう、いつもの毎日が始まっている。就職する前にもう一度くらい来たいなァ。ではこの辺で、さようなら。 初美

ps

出発までのひととき、小屋の掃除を終え、荷物をまとめる。一時期の小屋に比べて、とても綺麗に見えます。最近では品行方正(?)な人が多いのかな。加賀氏と小泉ちゃん、未だ帰らず。静かな時間が続く…。

学生生活も余すところ僅か、振り返ってみると、私の大学生活の収穫は、何であったのかしら、この四年間、

いろんな人に逢った気がする。高校生の頃は、やっぱり世界が狭いし。しかし何と言ってもワンゲルに入って世の中いろんな人が居るのだなと感心した。まっ、人間なんて表面だけじゃ本当に分からないし、少しでも自分の気持ちを素直に語り、また色々な事を教えてくれたりした少数の人との思い出は尽きない。もっとたくさん小屋に来たかったナと思う。

4年20th 遠田初美

## 昭和54年11月18日(日)

チョット寄ってみました。入口が判らず苦勞しました。随分綺麗になりましたね。ただ、石炭ストーブが無くなってしまったのは、ちょっと寂しい気がします。

OB12th 榎本吉夫

## 昭和54年12月26日(水)

『79.12.26 スキー講習会』

兎に角、最初に書きたいと思っていた。願いが叶って幸いです。24日の夜行で入り、27日までの予定だったスキー講習会は、雪不足の為、変更になり、25日(昨夜)の夜行で入る事になる。それでも、ここ妙高は雪少なく、リフトは動かず、磯尾氏の車、岡田さんの車にお世話になった。有り難うございました。

今のところ、24名。1年(9)、2年(7)、3年(5)、4年(2人)、OB(1人)。普段より随分と少ない。期日が1日ずれた為だろうか。例年になく、静か目の冬小屋になりそうだ。午後からは予定によると、練習が始まる。1年の初心者は勇気を出して頑張ろう。2年生で2年目の人は、今年の冬で完成を目指していこう。

20キ4年 西田雅典

## 昭和54年12月27日(木)

今年は、雪が少ないというよりも、雪が無い。27日というのに、今だにリフトは動かない。ゲレンデはブッシュばかりで、ただでさえ、こけまくる僕が、ムタクタにこけている。それ故、今、一番スキーらしいのが出来るのは、夏道で、小屋に入る迄の所だけだ。スピードが一番乗るのは、ここなのだ。そこで、22期の悪ガキ共(女子1名)で、途中にジャンプ台を作った。やってみると、結構面白い。ジャンプ競技会を始めたのです。北海道出身の次期副将の浅太郎が、5m近く飛んでトップ。女子は成田が3mぐらい、ジャンプ台と言っても、段差30cmぐらいのもので、スピードもあまり無いので、これくらいがまあまあの記録でした。そうしているうちに、新人の23期連中が戻ってきた。何も知らない純真な1年共が直前に来て、ウ

ギャーと気付いた時はもう遅い。後にご想像にお任せします。1年だけでなく、2年、3年、4年、5年(いや、OBのイソオさん…大学院1年生)と様々な反応を見せてくれました。その後もみんなで飛距離を伸ばそうと、みんな、年を忘れて一生懸命飛ばうとしました。リフトの動かないゲレンデ、雪の少ない小屋は淋しい。面白くないと感じる時もある。しかし、小屋の周囲中に、いろいろ工夫すれば、面白いものがある。今日もひとつの面白さが発見できて良かった。これからもどんどん、「面白さ」を見つけるぞ〜。メシが目の前に来た。それで、もう止めます。また書きます。

**22キ 次期小屋委員長2年 津江真行**

## 昭和54年12月28日(金)

12/28 (Fri.)

今、神谷(23キ)、谷内(22キ)、大津山(23キ)が来た。下から歩いて登ってきたそうだ。GUTS。これに反して、小生、昨日のジャンプで、どうやら腰を痛めたらしい。小屋に来る前まで、不規則な生活が続き、蓄積された疲労が、ジャンプの着地の瞬間に現れた模様だ。今日は恐らく終日、小屋に籠もり、羽毛シュラフにくるまる1日になりそうだ。いくら胡椒をかけても悩む事はないが、山小屋で故障に悩むのは初めての事で、情けない限りだ。外ではどうやら、恐怖のジャンプ台を新設しているようだ。まあ、気をつけて、十分楽しんで貰いたいものだ。仕方ないから、年賀状でも書いてみよう。まともに腰が立たぬ故、寝ながら書いているのが原因で、文字が乱れているのにお詫しを。

**20キ4年 西田雅典**

休暇が16連休(12/22~1/6 但し有休2日、レオ73日)取れましたので、久々に51/1以来4年振りに苗名小屋に来ました。丁度現役のスキー講習会とのこと。24名と2泊3日過ごしました。一昨日と昨日の晩は、久々に日本酒のうまさを味わい、又、懐かしいワングルメニューを戴き、まずは有意義な連休の始めでした。午前中、池の峰の尾根まで行ってきましたが、雪不足の為、登頂断念、帰りは林道をスキーで滑って来ましたが、途中、路面の出ている所が3箇所あり、コースタイムは夏並でした。五八木に小泉夫婦(15期)が来ているとのこと、これで下に下ります。

**OB15期 岩船芳人**

「なえな小屋ノルディック大会 第1回」について。30名(現役+OB・4人+客1人)が4班(8, 7, 7, 8)に分かれ、トーナメント方式で競う。コースは小屋の裏側を関川方面へ下り、展望台の麓を回り、キジの墓付近まで、GUTSで登るコースだ。前半の

コースは、一気に下り、白樺林の間を抜けてゆく気持の良さそうなものだが、後半の登りは苦しそう。競技開始3時前で、終了4:15頃。戦績(順位)は、優勝→藤倉隊(但し、Lはビンディング外れ 3回)、準優勝→鳥井隊、第3位→溝畑隊、第4位→浅沼隊。尚、時間の都合で、予定していた第3位、4位決定戦は略し、代わりにLが同コースをツボ足で走り順位を決める。ツボ足で走り、疲れて戻ってきた2人のLに、皆は雪つぶてを集中させた。悲劇は、この二人のL也。また、賞品は差し入れのチョコレートマシュマロとか。従来のスラロームに代わって、雪不足に悩みながら考案されたノルディックは、仲々楽しそうだ。スラロームが「緊張」とすれば、ノルディックは「根性」で競うと言えそうである。暖冬の続く昨今、この新たな「遊び」は、これからも度々行われるであろう。以上レポート

by 4年20th 西田

(ps) トピック(1) →浅沼隊の横溝氏ビンディングを破壊。バトンタッチした横溝氏は、ちょっとした段差を活発な八の字歩行で登ろうとしたが、その刹那、彼の大声と共にビンディングが壊れた。「外れ」たのではなく「壊れ」たのである。

トピック(2) →溝畑隊の成田氏の大穴掘り。観戦していた成田氏は、身体ごと転び、その拍子にキジの墓並みの大穴が掘れたのである。以上

4年20th 西田雅典

## 昭和54年12月29日(土)

28日、妙高9号 23:58の夜行で、松田と平井と僕でやって来た。これを28日から日記風に綴ると、28日(金) 9:45 上野へ着く。本当は23:45(46?)に乗るつもりで来たけれど、結構人が並んでいるので、1本遅らせて23:58に乗ることにする。松田と僕はホームを一巡し始めた。そうしたら、平井を発見したのである。そこで、みんなで乗り込む事にする。

(車中にて) 僕らの隣のボックスに、おじさん風の酔っぱらった二人連れが居た。このオッサンが、長野を過ぎた頃に”へ”(=おなら)を一発打ちかました。そしてもう一発出したのである。これには流石の僕もめげてしまった。

(妙高高原駅にて) さすが、駅に雪は一欠片も無かったが、やはり寒い。みんな背を丸めてストーブに集まり、一言も喋りたがらない。平井氏の話によると、9時に笹ヶ峰行きのバスが出るという話である。それを確かめるために案内所へ行くと、1000円取られると言うので、タクシーで行くことに決めた。2630円、ski代50円(1個)。やはり3人以上5人以下ならば、Taxiの方が得であろう。ここで頭に来たことが一つある。僕が”ここで結構です”と言うと、なんとtaxi-driver

(T氏ではない)は、自分が帰る方向へ U-turn をしてから、”はい、2630 円です” と言い張った。この U-turn 中に”カチッ”という音を聞いてしまったのである。U-turn 前なら、この”カチッ”という音を聞かなかったであろう。本当にせこい Taxi-driver。

2年 22nd 山崎晃

## 昭和 54 年 12 月 30 日(日)

大晴れ

早いもので、後 2 日で今年も終わりです。僕が初めて丹沢へ行った新練 1 次では、山のことなど何にも知らなくて、塔へ登ったのを思い出す。キスリングの入口の丸い穴の開いた金具に全部細引きを通してパッキングして学校へ行ったら、先輩から現在のような結び方を教えて貰った。大倉高原山の家で初夜を迎えたが、夕食がテキパキ出来ずに、大分遅れてしまったので先輩から叱られたのを未だ覚えている。今となっては懐かしいものとなってしまった。正直言って僕も、大分進歩したと思う。何にも知らない事から始めたんで、絶対退歩は無い筈ではあるが…。

昨日松田がひどいフィーバーを見せてくれた。今も炬燵の中で寝ている。今日、彼は高岡へ帰る予定なのに今日帰れるのかな？

浅沼、寺島、谷内、大津山、神谷がスキーを担いで第 4 リフトまで行ったのである。こんな寒い日に外に出かけるなんて、ほんとにどうかしてると違う？今、横須賀は晴れているだろうな～あ。明日雪が降らなければ、1 日に帰ろうと思う。昨年、正月明けてから入ったんだけど、昨年はもの凄く雪があった。そういえば、よく転んだものだ。大体、10m 以内に 2、3 回転んで、小屋に帰ればパンツを乾かした。今年もやはり転ぶだろうな。

2年山崎晃(22)

## 昭和 55 年 1 月 1 日(火)

1980 年！ 1 月 1 日 (火)

1979 年 12 月 26 日～28 日

<スキー講習会>

雪不足で、皆、満身に滑れなかったと思う。しかし、行けば少しはあると思い、又、津江が 1 年を連れて行くと言いだしたので、1 日延期して開催。津江などから見れば、私は頼りない小屋委員長に見える事だろう。しかし、21 期執行部最後の大きな行事なので、やはり、私としては出来るだけスキー講習会を行いたかったのだ。2、3 年のスキー技術向上は、難しかったようだが、1 年の初心者 6 人が、プフルークボーゲンまで行えるようになったのは、まあ、良かったと言えよう。よかった。よかった。

という安堵のせい、12/28 のコンパでは、失敗をやらかしてしまった。山小屋よ、そして私の面倒見てくれたみんなよ、スママセン。

教育学部技術科の私の友人(加藤、平賀、長谷川、高浪)の 4 人が入小屋した。そのうち高浪は越年した。YWV 皆も、親しい人など、小屋にどんどん連れて来たまえ。(但し、YWV 部員の付き添い付で) YWV を知って貰う良い機会だ。

<さいごに>今、1980 年 1 月 1 日 (火) 13:35

今日の 17:13 の列車で帰る。皆さよなら。山小屋よ、今度会えるのはいつだろうか！さらば——

(文責. 3年 21st 溝畑晃道)

1980 年の元旦

越年した高浪です。

雪は少なく残念でしたが、ノンビリと冬景色を楽しみながら、小屋生活を、酒浸りになりつつ、送ることが出来ました。WV の皆さんとは、次には山の稜線で会いたいと思います。今年はマイコミ平 1000m のタテ穴プロジェクトチームの 1 員として精進したいと思います。では、また。

横浜国立大学教育学部技術科

溝畑の友人 探検部 3年 高浪文隆

(ニックネーム FUMIN)

## 昭和 55 年 1 月 2 日(水)

昨年先の月の 28 日に小屋入りして、そして今日帰ります。

'79.5 月 6 日に書いた、自分のメモを読みました。あの頃は…。

4 年間もワンゲルに居たら、一体どういう人間になるのだろうかなんて、考えてしまいました。

春も良かったけれど、冬の小屋も又いいものです。雪が少ないとは言え、僕にとっては大雪です。昨日、初めてグレンデで滑りました。リフトは動いていませんでしたが、やっと、プフルークボーゲンから斜滑降へといった程度です。昨日右膝を痛めたので、今日はやめます。昨日の晩は 12 人でした。人の少ない小屋というのは、とてもいいものです。でも今晩は 4 or 5 人になるそうで…。

さあ、帰ったらお節を食べよう。数の子は未だあるだろうか？ 3 月は試験が終わり次第来ようと思います。経営学部は、早く試験が終わりそうなので、又ゆっくり出来そうです。

1年 23rd 大津山誠

まず、ワンパターンの一言”今日、小屋を出ます” 今年の正月は故郷に帰らず、初めて小屋で正月を迎えました。いいものですね。大晦日は紅白を聞きながら

年越しソバを食べ、元旦はお屠蘇を飲んでから、みんなですキーを担いで登って初滑りをしました。今年の冬は異常に雪が少なく、満足にスキーが出来なく、ちょっと残念だったけど、小屋での生活は、故郷札幌に帰らなかった事を少しも悔やまない程、楽しい充実したものでした。先輩、後輩そして我が 22 期のみんなと食事の用意をし、歌を唄い、酒を酌み交わし、語り合う。小屋独特の雰囲気は僕を暖かく包んでくれる。今年はいよいよ、僕ら 22 期が執行部をとる年です。不安は確かにあります。しかし、我が良き仲間 22 期・23 期そして 4 月に入る 24 期がしっかりスクラム組んでそれぞれの立場で頑張っ、精一杯やれば、きっとうまくいくと、僕は確信しています。これから一年間のワンゲル活動の出発点として、大きな一区切りを与えてくれました。頑張ります。みんなも頑張ろう。

2年 22nd 浅沼芳弘

## 昭和 55 年 1 月 4 日(金)

4th Jan. 1980 11.pm~

今日で小屋の生活も 10 日目になりました。雪も殆ど無く、スキーも殆ど滑れず、よくもまあ、こんなに長い間、小屋に居るなんて自分でもバカだなあと思っています。毎日天気図をとって、明日は雪だ 等と自分で自分を慰め、遂に今日まで来ました。嬉しいことに、今、雪が降っています。もう 20~30 cm位積もった様です。明日は思いっきりスキーが出来ると良いなあ、本当に期待しているのです。それにしても雪が無いのに小屋に居るなんて、やっぱりこの苗名小屋が好きなんだなあと思います。もし、審査委員長なんてやらなかったら、小屋委員長を絶対にやってみたかった。小屋委員とか委員長は、私が一番小屋を愛しているのです という顔をしているように見えますが(僕の独断と偏見なので、その当の人は気にしないで下さい)、この僕も、やっぱりとっても、この小屋が好きです。下級生でその気になったら、19 泊 20 日の記録を塗り替えて下さい。明日は燕温泉で 1 泊していく積もりです。このまま、スキーをやれずに帰るのは、余りにも惨めだし、今年から僕のものになったスキーに対して申し訳ありません。

4年 20th 青山功

むとうはババアだ。神谷もババアだ。じじいはだれだ？

Y.Yoshida 1年 23rd 吉田豊

## 昭和 55 年 1 月 5 日(土)

5th January 1980. 1:00 a.m

今、聞こえてくる音  
それは柱時計、ライトの音  
外では音のない世界で雪が舞い散っている。  
今、思う事。  
時の流れの速さに気付くこと。  
静寂の中にわずかに耳を立てること  
そして…なえな小屋のこと  
今、感じる事  
静けさの中にただ一人いるということ  
この安らぎを与えてくれる小屋のこと  
今の自分がここにいること  
そして なえな小屋が僕に安らぎをあたえてくれること  
みんながこの小屋を思い、大切にしていってくれる。  
OBとなった今、この事がとても嬉しい。いつ来ても、綺麗で気持ちいい小屋、この事はみんなも思うだろうし、僕も そうであって欲しい。この小屋が好きなら、小屋を綺麗にしよう。後始末もしっかりしよう。僕が 10 年後、この小屋に来た時に、やっぱり綺麗な小屋であるように。  
4年になってクラブとも少しずつ離れ、今や OB。この小屋は歳を取るたびに好きになりそうです。自分の小屋、なえな小屋が好きです。

4年 20th A.O.青山功

## 昭和 55 年 1 月 15 日(火)

1/15 15th Sho Ushikubo

小生が入っている山の会「東京南陵会」のメンバー 5 人で山小屋に来ました。本日帰ります。16 期の植松も本日、一緒に帰ります。1 年半振りの山小屋はとても楽しかった。

OB15th 牛窪肖

## 昭和 55 年 2 月 10 日(月)

今日、初めて『J・バー』に行きました。入口の所に蝶ネクタイをしたおじさん…やめた(※印へ続く)  
今日も初めて J バーリフトに乗りまくりました。初めてリフトに乗った時のように、久々の緊張感に酔いしれました。J 型のパイプを股間に挟み込み、しっかりと握りしめると、ヒモがビューンと伸びきって、グググッと お尻のあたりを引っ張り上げました。気持ち良かった。ワンゲルで初めて J バーリフトに■■を奪われた 19 期の 4 人でした。(井上→20 年のワンゲル史上初めて J バーに乗る、中島→万年ナンバー 2 のニャニヤジマ、海野、熊沢 でした)  
※おじさんに やおらハサミで切り落とされ…やっぱりやめた。

OB19th 海野和明

まじめに書こう！（決心した海野クン）

僕は現在、生まれ故郷の静岡に帰って、静岡県農協中央会という圧力団体に入っています。そこで月刊「農業技術研究」という雑誌を編集しています。この雑誌はモロに農民のヒャクショーの技術誌ですが、表紙は僕が担当しています。毎月十代のカワイコちゃんを探してきては、「モデルにならない？」と言い寄っています。これまで10人の女の子を探してきましたが、全く何も起こりません。（まじめに書くのやめた！）…書くのも止めた！（ごめん）

もう、字を書くのメンドクサイ。口の方がイイヤ…

OB19th 海野和明

## 昭和55年2月28日(金)

今日は雪がよく降っていたので、井戸掘りは断念。津江さん、ご免なさい。少しスキーの練習をしたが、足腰が立たないせいかパラレルなんか全く出来なかった。3～4年の空白は大きい。今日はJ字型のロープウェーに乗ったが、なかなか興味深かった。前の京大体育会の女性は初めから座り込んで、へまばかりしていた。ヘタだなあ。無理々々。やめろやめろ。

森島が横溝さんの日本酒を借りて一芸を披露した。日本酒の瓶に酒と塩を入れて、マッチに火をつけ、瓶に火を入れると、炎が燃え上がった。見たい人は、塩と酒少々を入れ、炬燵等で暖めて、マッチに火をつけ、瓶の中に入れてみてください。安全は保証しませんが。わあー気持ちよく今日は酔えた。横溝、中丸、森島、加藤の4氏で、静かがいい。こういう静けさが、明朝で無くなると思うと残念だ。今のうちにやりたい事をやりたいなあ。この様な乱筆、ご容赦下さい。

酒が入ってホロ酔い気分の広島出身ヒーローの加藤の文責。

ps. 今、好きなこと、言い放題です。

1年23rd 加藤英二

小屋に入って2日目。冬は入らなかった。今、酒を飲んでいい気になっている。酒はいい。これ程いいものは無い。どうしてかと言われたって、そんなこと聞く方がバカだね。これ程いいものは有りませんね。今、四人切りで、愉しく小屋で過ごしています。

C.M.1年23rd 森嶋千唐

初登場です。中丸です。加藤と森嶋と横溝さんと、四人で入ってます。四人で最初に入ってます。I'm drunken now. 今、酔っていますから、今、字が非常に、字が乱れてます。

今日ギネスブックに残る記録に残るものを残しました。それはJ・Bリフトに一番乗りした事です。初めは横

溝氏が一番乗りすると言っていました、彼の盲点をついて一番乗りしたのです。しかし横溝氏は明日の\*\*に一番乗りすると言っていますが、それも無理でしょう。明日も出し抜いて私が彼を出し抜いて1番になるのです。彼は今、私にゆきんたまをやらせようとしたのです。偉そうに彼は頑張る。彼は”愛される\*\*\*”と言ったけれど、そんなことで愛されるのか。今からは、もっと自分の立場を認識して欲しい。字が非常に汚いけど我慢して欲しい。話は変わって、昨日、4人入っているのに仲々苦労した。リフトが止まった。1年生諸君が1回ずつ止めたのだ。しかし、去年6回（某4年に聞いた）止めた人が居るので、全くそれは気にならない。それにしても、昨日今日の雪下ろし、並びに階段づくりは苦労した。詳しくは横溝氏に聞いてくれ。乱筆\*\*しました

2年22nd 中丸正明

## 昭和55年3月1日(日)

(元)18期渡部

2/29日の夜行で赤倉山にスキー登山の予定にて入小屋。下界の雨にすっかり濡れ、登る元気もさらさら失せ、やっぱりゴロネの小屋に限る。それでもシールなど着け、No.4ゲレンデを登れば行きも切れ切れ、日々のトレーニングの大切さをしみじみ感じ、結局帰ればそれも忘れるだろうと思いつつも…。

12月が嘘みたい、大雪に驚きながらも、明日は何とか赤倉山を登ってやろうと思います。おお、同伴の友人は小島氏で、私の入っている「ベルグ山の会」のトップクライマーですが、慣れないシール登りに、いつもの岩場のガッツが見られない様です。今回は、彼にせがまれて私も、久々の山スキーです。

Ps.17期市野典明氏が来る3/29、めでたく御結婚のはこびとなりましたので、お知らせ致します。

OB18th 渡部(元)

## 昭和55年3月4日(水)

今、みんなスラローム大会を行っています。小屋に残っているのは西田君と私だけ。西田君は体中がおかしくなって、私は昨日渋谷橋のところで変な遊びをした為、腰痛の為大好きなスラローム大会にも参加できません。私、本当にスラローム大会って大好きなんです。一昨年、私が1年の時のスラローム大会の楽しかったこと、忘れません。感激の3位（6隊中）でした！メンバーは西田さん、増田さん、山崎さん、藤倉さん、為ちゃん、寺君と私でした。2位との0.1秒差で負けちゃったんです。そのスラローム大会に参加出来ないなんて悲しくなっちゃいます。私の実力を発揮しようと思っていたのに…なんちゃって。

明日はスキーツアーの偵察、明後日は先発…と、まだまだ、小屋での行事は続きます。スキーツアーに行かれないにならないように、今は我慢しなくては。大人しくなくては。あんなバカな遊びをした、という私の不注意が悔やまれます。22期のスキーツアーだというのに…。絶対に行ってやる！それにしても痛い。22期が執行部を取り始めてもう、1ヶ月半経ちました。その間に、冬トレ・試験・遭対合宿が、もう過ぎていきました。この調子で何やかやと忙しくしているうちに、もう夏合宿も終わってしまうのでしょうか。時間を大切にしないと。後悔先に立たず。1年生もこれからが、しっかりしなければいけない時です。去年私は、春合宿で頑張らないと もう駄目だと、思っていた位、春合宿が過ぎたら上級生、という気持でした。結果は大して頑張れなかったけれど、上級生になるという事は、やっぱり心が引き締まるものですよ。1年生、頑張れ！小屋に一番長く居たのは、私は10日間です。去年の春でした。スキーツアーに感激して、人の少ない小屋に浸り切っていました。あの頃は若かったなあ。未だ十代だったんだから。今の一年生は余り若くないけれど、若いうちに、感受性の強いうちに、いろんな事をして下さい。ゴールデン pw. 楽しい pw を一年生が出してくれるのを待っています。

では、どこの隊が優勝することか、みんなが、元気で帰って来るのを待っています。

#### 2年 22nd 山田みさお

スラローム大会を終えて今、夕食前の一時を、炬燵に入りながら、これを書いています。この山小屋日記を書くのは初めてです。スラローム大会で皆のスキーを見ていたら、すごく上手になってビックリしました。私が1年の冬に、初めて滑った時、私も含めてみんな下手だったのになあ（みんな、ごめんね）。何か嘘みたいですね。私がもう大学3年になるなんて。

#### 2年 22nd 渡辺清子

### 昭和 55年 3月 5日(木)

11:00am

昨日の夜行（7号）で上野を発った。高校からの悪友（小笠原）と、偶然会った湯浅と3人で入小屋した。グリーンロッジでコーヒーを飲んで休んでいると、為と山崎が湯浅の出迎えにやってきた。合宿も一応無事に終わったとのこと。スキーツアーも成功裡に終わる事を祈ります。ところが、だ！スキーが無い。靴も無い。グリーンロッジで為から、僕のスキーが偵察に使われていると聞いた。まあまあ、スキーを流して無くしてしまうより、ましだと納得する。御苦労さん。と言うことで、スキーは出来ず、今、山田とギターを弾いている。午後からは久し振りに思い切り滑ろう。

小笠原共々、よろしくお世話、お願いいたします。彼は高校時代に山岳部に居て、今、日大の化学の科にいて、時々山に行っている。ワングルの事は折に触れて僕も話したが、いろいろ話を聞かせてやって下さい。尚、母親がワングルにラーメンを差し入れてくれました。皆で食べて下さい。

#### 4年 20th 西田雅典

1980年3月5日木曜日 午後5時21分

丁度、今年スキーツアーの実質的中が決まったところです。

ところで、僕も、この3月いっぱいワングル活動を中止することにしました。部員としての活動が無くなるとしても、元部員としての活動は無くなる訳ではありません。こんな書き方はホントに馬鹿馬鹿しい。辞めるからと言ってそれは、僕にとってもクラブにとっても、何も悲しい事は無い筈なのです。特に僕には、この4月から第2の大学生活が待っているのです。僕が何故、クラブを辞めるかという、僕の大学生活はワングルそのものであった、等と言う事は耐え難いからなのです。よく、大学生は遊学生だ 等と言う人が居ますが、僕はその事に対して、猛烈な反発を感じるのです。と言っても、僕には、大学から与えられたカリキュラムに没頭する積もりはサラサラ無いのです。僕は、今現在は職人的技術を身につけた企業人を目指していますが、この先どうなるかは 全く判らない…。一つには、時間が経つのが早過ぎるという焦りが有ることも事実です。未だ20年しか生きていないのだけれど、大学に入ってから2年と言うのはアツという間だった。何か、一つのことを修得するには、都会の一点に根城を構え、腰を据えて一年ぐらい集中することが必要でしょう。為には、ワングルを辞めて、2年間、その一つのもの、或いは二つものものに集中する必要があったのです。

僕が執行部から一人欠けても、このクラブは、どうという事無く生き続けるでしょう。この苗名小屋も在るでしょう。2、3年後に必ず自分は、この小屋に戻って来る気がする。その時には、その時の感慨があることでしょう。

最後に、僕が今後やることは、企業活動の記録法の研究と、言語学の勉強です。でも決して、経済学の有効性を無視している訳ではない。未だに学問の入口に立ったままの心境なのです。

#### 22期 2年 平井達郎（記録）

### 山小屋日誌 17号完